



JASDAQ

平成 27 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名	株式会社かわでん
代表者名	代表取締役社長 西谷 賢
(コード : 6648	J A S D A Q)
問合せ先	取締役経営管理本部長 光藤 淳一
(TEL	03-5714-4301)

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 (非連結)」の一部訂正について

当社が平成 21 年 11 月 6 日に公表いたしました「平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 (非連結)」につきまして、一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

なお、訂正箇所につきましては____下線を付して表示しております。

訂正理由につきましては、平成 27 年 3 月 13 日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」をご参照ください。

以上

平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算短信 (非連結)

平成 21 年 11 月 6 日

上場会社名 株式会社かわでん 上場取引所 JQ
 コード番号 6648 URL <http://www.kawaden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西谷 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 光藤 淳一 TEL 03-5714-4301
 四半期報告書提出予定日 平成 21 年 11 月 12 日 配当支払開始予定日 平成 21 年 12 月 7 日

(百万円未満切捨て)

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 2 四半期	6,789	△12.1	372	△47.1	365	△47.4	194	△47.9
21 年 3 月期第 2 四半期	7,724	—	705	—	694	—	372	—

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 2 四半期	6,074.66	—
21 年 3 月期第 2 四半期	11,650.06	11,619.18

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
22 年 3 月期第 1 四半期	12,780	7,937	62.1	248,233.06
21 年 3 月期	12,415	7,819	63.0	244,524.91

(参考) 自己資本

22 年 3 月期第 2 四半期 7,933 百万円

21 年 3 月期 7,819 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00
22 年 3 月期	—	2,500.00	—	—	—
22 年 3 月期 (予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成 22 年 3 月期の業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
累計期間 通期	13,500	△14.1	500	△62.0	470	△63.2	280	△57.6	8,756.02

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	41,920株	21年3月期	41,920株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	9,942株	21年3月期	9,942株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	31,978株	21年3月期第2四半期	31,978株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

平成22年3月期 第2四半期決算短信 (非連結)

平成21年11月6日

上場会社名 株式会社かわでん 上場取引所 JQ
 コード番号 6648 URL <http://www.kawaden.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西谷 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 光藤 淳一 TEL 03-5714-4301
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日 配当支払開始予定日 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,789	△12.1	398	△44.9	363	△47.6	181	△50.0
21年3月期第2四半期	7,724	—	722	—	693	—	363	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	5,676.70	—
21年3月期第2四半期	11,361.16	11,331.04

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	
22年3月期第1四半期	12,774	7,898	61.8	247,003.50
21年3月期	12,412	7,792	62.8	243,693.31

(参考) 自己資本

22年3月期第2四半期 7,898百万円

21年3月期 7,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00
22年3月期	—	2,500.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
累計期間 通期	13,500	△14.1	500	△63.2	470	△63.1	280	△56.3	8,756.02

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	41,920株	21年3月期	41,920株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	9,942株	21年3月期	9,942株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	31,978株	21年3月期第2四半期	31,978株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

(訂正前)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機に伴う景気の後退という厳しい状況下にあるものの、著しく悪化した企業の業況感は、製造業大企業を中心に改善の動きがみられてきております。しかし、企業収益は低水準で推移しており設備投資は大幅に減少し、個人消費の低迷や雇用情勢も悪化が続くなど、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当業界におきましては、民間設備投資の大幅な減少は当業界の需給関係を一層厳しくさせており、企業間の受注・価格競争はかつてない激しい環境となっております。

このような厳しい状況下で、当社は全社員一丸となり、更なる品質の向上と納期厳守、及びお客様対応の充実も含め、顧客満足を最優先に全力を傾注し営業活動を展開してまいりました。しかし、受注見込み案件の延期や中止など景気後退の影響により、売上高は6,789百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

利益につきましては、製造販売一体となり生産効率アップのための改善活動を推進しましたが、減収の影響が大きく営業利益は372百万円(前年同期比47.1%減)、経常利益は365百万円(前年同期比47.4%減)、四半期純利益は194百万円(前年同期比47.9%減)となりました。

(訂正後)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機に伴う景気の後退という厳しい状況下にあるものの、著しく悪化した企業の業況感は、製造業大企業を中心に改善の動きがみられてきております。しかし、企業収益は低水準で推移しており設備投資は大幅に減少し、個人消費の低迷や雇用情勢も悪化が続くなど、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当業界におきましては、民間設備投資の大幅な減少は当業界の需給関係を一層厳しくさせており、企業間の受注・価格競争はかつてない激しい環境となっております。

このような厳しい状況下で、当社は全社員一丸となり、更なる品質の向上と納期厳守、及びお客様対応の充実も含め、顧客満足を最優先に全力を傾注し営業活動を展開してまいりました。しかし、受注見込み案件の延期や中止など景気後退の影響により、売上高は6,789百万円(前年同期比12.1%減)となりました。

利益につきましては、製造販売一体となり生産効率アップのための改善活動を推進しましたが、減収の影響が大きく営業利益は398百万円(前年同期比44.9%減)、経常利益は363百万円(前年同期比47.6%減)、四半期純利益は181百万円(前年同期比50.0%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(訂正前)

(流動資産)

売上債権の回収による受取手形193百万円の減少及び売掛金199百万円の減少があったものの、現金及び預金501百万円の増加及び棚卸資産が162百万円増加したことなどにより、流動資産合計は前事業年度末比341百万円 (4.0%) 増加し、8,948百万円となりました。

(固定資産)

九州工場の新塗装ライン工事完了などにより機械及び装置が52百万円増加したものの、減価償却により建物が11百万円、工具器具及び備品が13百万円それぞれ減少いたしました。これらの結果、固定資産合計は前事業年度末比22百万円 (0.6%) 増加し、3,832百万円となりました。

(流動負債)

未払法人税等55百万円の減少等があったものの、買掛金250百万円の増加などの結果、流動負債合計は前事業年度末比118百万円 (3.2%) 増加し、3,824百万円となりました。

(固定負債)

長期借入金が125百万円増加したことなどにより、固定負債合計は前事業年度末比127百万円 (14.4%) 増加し、1,017百万円となりました。

(純資産)

繰越利益剰余金は配当金の支払により79百万円の減少の一方、四半期純利益194百万円を計上し、114百万円増加しております。また有価証券評価差額金により評価・換算差額等が4百万円増加いたしました。これらの結果、純資産合計は前事業年度末比118百万円 (1.5%) 増加し、7,937百万円となりました。

(訂正後)

売上債権の回収による受取手形193百万円の減少及び売掛金199百万円の減少があったものの、現金及び預金501百万円の増加及び棚卸資産が160百万円増加したことなどにより、流動資産合計は前事業年度末比340百万円 (4.0%) 増加し、8,942百万円となりました。

(固定資産)

九州工場の新塗装ライン工事完了などにより機械及び装置が52百万円増加したものの、減価償却により建物が11百万円、工具器具及び備品が13百万円それぞれ減少いたしました。これらの結果、固定資産合計は前事業年度末比22百万円 (0.6%) 増加し、3,832百万円となりました。

(流動負債)

未払法人税等44百万円の減少等があったものの、買掛金250百万円の増加などの結果、流動負債合計は前事業年度末比129百万円 (3.5%) 増加し、3,858百万円となりました。

(固定負債)

長期借入金が125百万円増加したことなどにより、固定負債合計は前事業年度末比127百万円 (14.4%) 増加し、1,017百万円となりました。

(純資産)

繰越利益剰余金は配当金の支払により79百万円の減少の一方、四半期純利益181百万円を計上し、101百万円増加しております。また有価証券評価差額金により評価・換算差額等が4百万円増加いたしました。これらの結果、純資産合計は前事業年度末比105百万円 (1.4%) 増加し、7,898百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、投資活動によるキャッシュ・フローで252百万円の資金の減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローで743百万円、財務活動によるキャッシュ・フローで10百万円の資金の増加があり、前事業年度末に比べ501百万円(17.4%)増加し、3,377百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は743百万円となりました(前年同期は691百万円の増加)。これは売上債権の減少391百万円による資金の増加に加え、税引前四半期純利益365百万円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は252百万円となりました(前年同期は299百万円の減少)。これは九州工場の新塗装ライン工事完了等に伴う有形固定資産取得による支出236百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は10百万円となりました(前年同期は172百万円の減少)。これは長期借入金の返済による支出159百万円などがあったものの、長期借入による収入300百万円があったことによるものであります。

(訂正後)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、投資活動によるキャッシュ・フローで252百万円の資金の減少があったものの、営業活動によるキャッシュ・フローで743百万円、財務活動によるキャッシュ・フローで10百万円の資金の増加があり、前事業年度末に比べ501百万円(17.4%)増加し、3,377百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は743百万円となりました(前年同期は691百万円の増加)。これは売上債権の減少391百万円による資金の増加に加え、税引前四半期純利益363百万円などがあったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は252百万円となりました(前年同期は299百万円の減少)。これは九州工場の新塗装ライン工事完了等に伴う有形固定資産取得による支出236百万円などがあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の増加は10百万円となりました(前年同期は172百万円の減少)。これは長期借入金の返済による支出159百万円などがあったものの、長期借入による収入300百万円があったことによるものであります。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(訂正前)

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,477	2,976
受取手形	954	1,147
売掛金	2,536	2,736
製品	<u>960</u>	<u>880</u>
仕掛品	<u>263</u>	<u>215</u>
原材料	221	187
繰延税金資産	491	442
その他	44	22
貸倒引当金	<u>△1</u>	<u>△1</u>
流動資産合計	<u>8,948</u>	<u>8,606</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,367	1,378
その他(純額)	1,630	1,592
有形固定資産合計	<u>2,997</u>	<u>2,971</u>
無形固定資産	128	137
投資その他の資産		
繰延税金資産	262	265
その他	446	439
貸倒引当金	<u>△3</u>	<u>△3</u>
投資その他の資産合計	<u>705</u>	<u>701</u>
固定資産合計	<u>3,832</u>	<u>3,809</u>
資産合計	<u>12,780</u>	<u>12,415</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,495	1,244
短期借入金	400	450
1年内返済予定の長期借入金	249	235
未払法人税等	<u>233</u>	<u>289</u>
賞与引当金	292	268
その他	1,153	1,218
流動負債合計	<u>3,824</u>	<u>3,706</u>
固定負債		
長期借入金	375	250
退職給付引当金	641	639
固定負債合計	<u>1,017</u>	<u>889</u>
負債合計	<u>4,842</u>	<u>4,596</u>

(単位:百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,124	2,124
資本剰余金	1,481	1,481
利益剰余金	<u>6,199</u>	<u>6,085</u>
自己株式	△1,872	△1,872
株主資本合計	<u>7,933</u>	<u>7,819</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	0
評価・換算差額等合計	<u>4</u>	<u>0</u>
純資産合計	<u>7,937</u>	<u>7,819</u>
負債純資産合計	<u>12,780</u>	<u>12,415</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,477	2,976
受取手形	954	1,147
売掛金	2,536	2,736
製品	<u>955</u>	<u>876</u>
仕掛品	<u>262</u>	<u>214</u>
原材料	221	187
繰延税金資産	491	442
その他	44	22
貸倒引当金	<u>△1</u>	<u>△1</u>
流動資産合計	<u>8,942</u>	<u>8,602</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,367	1,378
その他(純額)	1,630	1,592
有形固定資産合計	<u>2,997</u>	<u>2,971</u>
無形固定資産		
	128	137
投資その他の資産		
繰延税金資産	262	265
<u>長期未収入金</u>	<u>84</u>	<u>57</u>
その他	446	439
貸倒引当金	<u>△88</u>	<u>△60</u>
投資その他の資産合計	<u>705</u>	<u>701</u>
固定資産合計	<u>3,832</u>	<u>3,809</u>
資産合計	<u>12,774</u>	<u>12,412</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,495	1,244
短期借入金	400	450
1年内返済予定の長期借入金	249	235
未払法人税等	<u>267</u>	<u>312</u>
賞与引当金	292	268
その他	1,153	1,218
流動負債合計	<u>3,858</u>	<u>3,729</u>
固定負債		
長期借入金	375	250
退職給付引当金	641	639
固定負債合計	<u>1,017</u>	<u>889</u>
負債合計	<u>4,876</u>	<u>4,619</u>

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,124	2,124
資本剰余金	1,481	1,481
利益剰余金	<u>6,160</u>	<u>6,058</u>
自己株式	△1,872	△1,872
株主資本合計	<u>7,894</u>	<u>7,792</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	0
評価・換算差額等合計	<u>4</u>	<u>0</u>
純資産合計	<u>7,898</u>	<u>7,792</u>
負債純資産合計	<u>12,774</u>	<u>12,412</u>

(2) 四半期損益計算書
 (第2四半期累計期間)
 (訂正前)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	7,724	6,789
売上原価	<u>5,605</u>	<u>4,994</u>
売上総利益	<u>2,118</u>	<u>1,794</u>
販売費及び一般管理費	1,412	1,421
営業利益	<u>705</u>	<u>372</u>
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	2
受取賃貸料	4	4
受取保険金	—	5
その他	17	8
営業外収益合計	<u>27</u>	<u>21</u>
営業外費用		
支払利息	9	8
売上債権売却損	18	14
その他	9	6
営業外費用合計	<u>37</u>	<u>29</u>
経常利益	<u>694</u>	<u>365</u>
特別利益		
固定資産売却益	3	—
その他	—	0
特別利益合計	<u>3</u>	<u>0</u>
特別損失		
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	17	—
その他	0	—
特別損失合計	<u>21</u>	<u>0</u>
税引前四半期純利益	<u>676</u>	<u>365</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>287</u>	<u>220</u>
法人税等調整額	17	△49
法人税等合計	<u>304</u>	<u>171</u>
四半期純利益	<u>372</u>	<u>194</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,724	6,789
売上原価	<u>5,588</u>	<u>4,968</u>
売上総利益	<u>2,135</u>	<u>1,820</u>
販売費及び一般管理費	1,412	1,421
営業利益	<u>722</u>	<u>398</u>
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	2	2
受取賃貸料	4	4
受取保険金	—	5
その他	17	8
営業外収益合計	<u>27</u>	<u>21</u>
営業外費用		
支払利息	9	8
売上債権売却損	18	14
貸倒引当金繰入額	<u>18</u>	<u>27</u>
その他	9	6
営業外費用合計	<u>56</u>	<u>56</u>
経常利益	<u>693</u>	<u>363</u>
特別利益		
固定資産売却益	3	—
その他	—	0
特別利益合計	<u>3</u>	<u>0</u>
特別損失		
固定資産除却損	4	0
投資有価証券評価損	17	—
その他	0	—
特別損失合計	<u>21</u>	<u>0</u>
税引前四半期純利益	<u>674</u>	<u>363</u>
法人税、住民税及び事業税	<u>294</u>	<u>230</u>
法人税等調整額	17	△49
法人税等合計	<u>311</u>	<u>181</u>
四半期純利益	<u>363</u>	<u>181</u>

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書
(訂正前)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	676	365
減価償却費	159	184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	30	24
受取利息及び受取配当金	△5	△3
受取保険金	△0	△5
会員権売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	17	—
支払利息	9	8
固定資産除売却損益(△は益)	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△36	391
たな卸資産の増減額(△は増加)	280	△162
仕入債務の増減額(△は減少)	74	250
未払消費税等の増減額(△は減少)	△70	△48
その他の資産の増減額(△は増加)	△16	△21
その他の負債の増減額(△は減少)	△176	31
小計	948	1,018
利息及び配当金の受取額	5	3
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△253	△274
保険金の受取額	—	5
その他の収入	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	691	743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△290	△236
有形固定資産の売却による収入	62	—
無形固定資産の取得による支出	△6	△15
固定資産の除却による支出	△3	—
差入保証金の差入による支出	△8	△0
その他	△52	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△50	△50
長期借入れによる収入	200	300
長期借入金の返済による支出	△243	△159
配当金の支払額	△79	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	219	501
現金及び現金同等物の期首残高	2,609	2,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,828	3,377

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	674	363
減価償却費	159	184
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18	27
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30	24
受取利息及び受取配当金	△5	△3
受取保険金	△0	△5
会員権売却損益 (△は益)	—	△0
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	17	—
支払利息	9	8
固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△36	391
たな卸資産の増減額 (△は増加)	282	△160
仕入債務の増減額 (△は減少)	74	250
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△70	△48
その他の資産の増減額 (△は増加)	△35	△48
その他の負債の増減額 (△は減少)	△176	31
小計	948	1,018
利息及び配当金の受取額	5	3
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△253	△274
保険金の受取額	—	5
その他の収入	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	691	743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△290	△236
有形固定資産の売却による収入	62	—
無形固定資産の取得による支出	△6	△15
固定資産の除却による支出	△3	—
差入保証金の差入による支出	△8	△0
その他	△52	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△299	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50	△50
長期借入れによる収入	200	300
長期借入金の返済による支出	△243	△159
配当金の支払額	△79	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	219	501
現金及び現金同等物の期首残高	2,609	2,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,828	3,377